

故障とお考えになる前に

修理にお出しになる前に、次のことをお調べください。

受話音が聞こえない

- 電源ランプが消えている場合は、電池が消耗しています。音量つまみを「電源 切」の位置にすれば、電話機で設定された音量で聞こえます。電源ランプが点灯しない

- 電池が消耗しています。電池を交換してください。

電源ランプが自然に消えてしまった

- しばらく無音が続くと自動的に電源が切れ、電源ランプが消えます。故障ではありません。

ピー音が聞こえる

- 電池蓋を開けると、または開いているとピー音が聞こえます。故障ではありません。蓋を閉めれば止まります。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときは

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では受話音量アンプの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能時期とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

主な仕様

最大外形寸法	約40×25×160 mm(幅/高さ/奥行)
質量	約110 g(電池含む)
電源	単4形アルカリ乾電池 2本
電池持続期間	1日に15分程度使用した場合、約6ヵ月
入力端子	4極4芯モジュラージャック
出力端子	4極4芯モジュラージャック
付属品	単4形アルカリ乾電池(2) 接続コード(約25cm)(1) 固定用面ファスナー(2) 取扱説明書・保証書(1) ソニーご相談窓口のご案内(1)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

*EIAJ(日本電子機械工業会)規格による測定値です。

警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

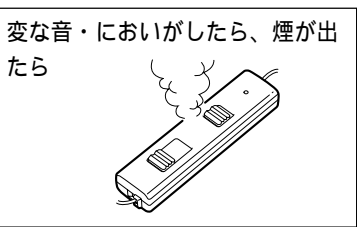
安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら



- ① 電池を抜く
- ② お買い上げ店またはソニーサービス 窓口 に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

△危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

△警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

△注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



警告 火災・感電により大けがの原因となります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

内部を開けない

故障・感電・火災の原因となります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光の当たる場所には置かない
火災や感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら、本機、電話機、電話回線コードに触れない
感電の原因となります。

注意 下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

電池交換のとき、バネなどに触らない
手を引っかけてけがをする恐れがあります。

幼児の手の届かないところに置く

小さい部品や付属品を幼児が誤飲する恐れがあります。

電池についての安全上のご注意 液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

△危険

- 火の中に入れない。電池の＋と－端子を金属などでショートさせたり、分解、加熱しない。コイン、ヘヤーピン、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 電池内部の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

△警告

- 指定された種類の電池を使用する。
- 乾電池を充電しない。
- 電池内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こす恐れがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。

△注意

- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長期間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。
- 電池内部の液が漏れたときは、直ちにふき取ってください。端子がさびて、電池交換の際にけがをする恐れがあります。

△警告

アルカリ電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

アルカリ電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

お取り扱いと技術的なお問い合わせは

- テクニカルインフォメーションセンターへ
048-794-5194
受付時間 9:00 ~ 17:00
(土・日・祝祭日を除く)

ソニー製品のホームページ：http://www.sony.co.jp

この説明書は再生紙を使用しています。

受話音量アンプ

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよく読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

TL-A10

Sony Corporation © 2000 Printed in Japan

受話音量アンプ

TL-A10

主な特長

通話中に受話音量を簡単に調節できます。
聞き取りにくいとき、音質を変えて聞き取りやすくなります。

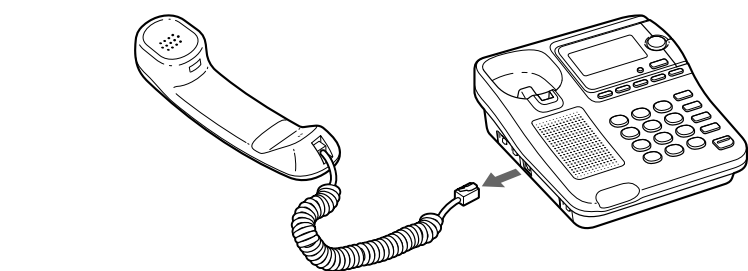
●ご注意

本機は補聴器としてはお使いになれません。

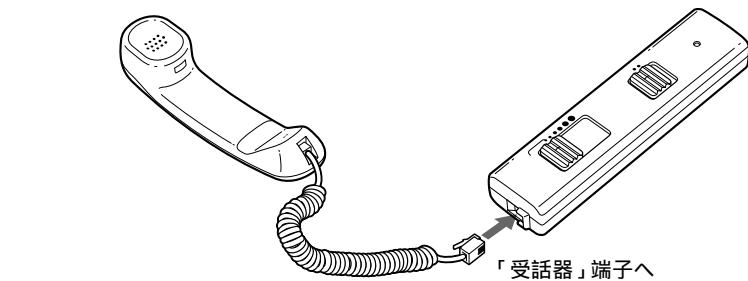
▶準備する

接続する

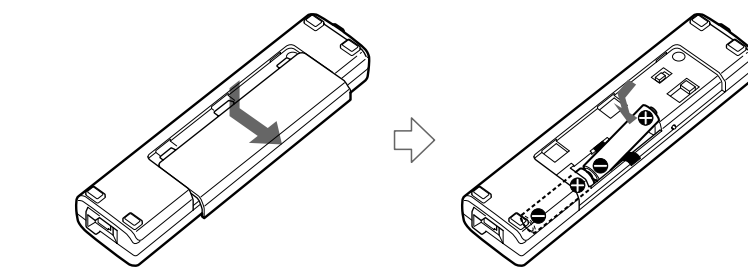
1 受話器を電話機からはずす。



2 受話器を受話音量アンプの受話器端子につなぐ。



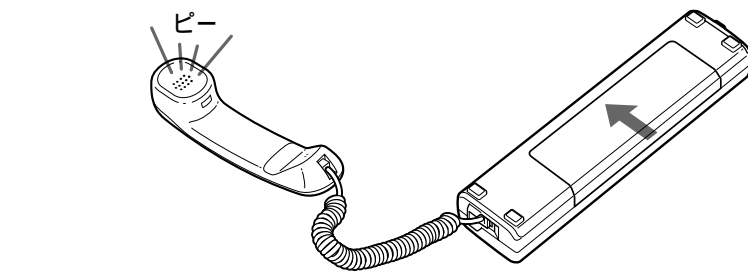
3 受話音量アンプに付属の単4形乾電池を入れる。



4 ビーという確認音が受話器の受話側から聞こえたら、電池蓋を閉める。

蓋を開めると確認音は止まります。

ビーという確認音が聞こえない場合は
右記の「ビーという確認音が聞こえないときは」の項目に従って、初期設定を行ってください。

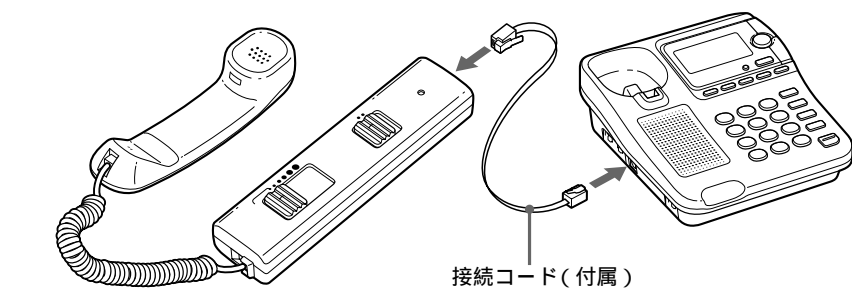


●ご注意

電池蓋は必ずきちんと閉めてください。蓋がきちんと閉まっていないと本機は動作しません。蓋を破損したり紛失したりした場合は、ソニーサービスステーションにご相談ください。

5 受話音量アンプを付属の接続コードで電話機につなぐ。

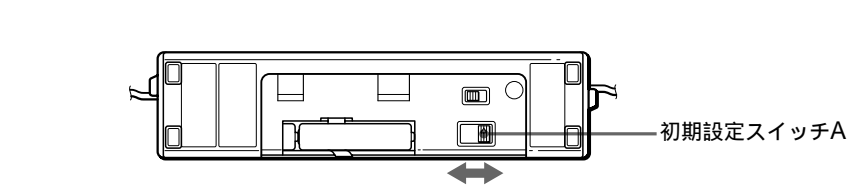
これで、準備完了です。



付属の接続コードが短すぎる場合は、別売りのカールコードTL-43Cをお買い求めください。

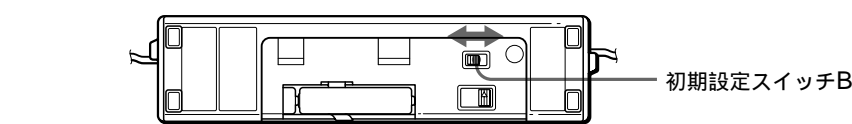
ビーという確認音が聞こえないときは

初期設定スイッチAを確認音が聞こえる位置にしてください。



それでも聞こえないときは

初期設定スイッチBを「2」にして、初期設定スイッチAを確認音が聞こえる位置にしてください。



●ご注意

受話器によっては、確認音が送話側（マイク側）から聞こえる場合があります。必ず確認音が受話側（スピーカー側）から聞こえる位置に初期設定スイッチを設定してください。設定後は初期設定スイッチを動かさないでください。別の電話機に接続した場合は、初期設定スイッチで設定しなおしてください。

乾電池の交換時期

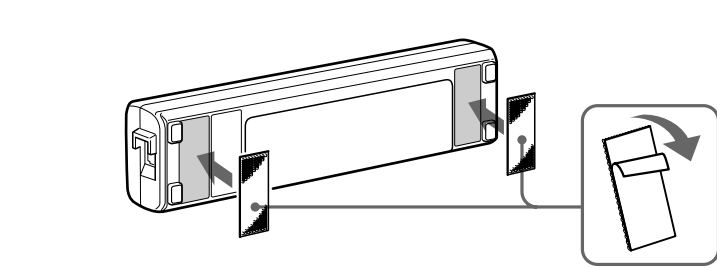
電源ランプが暗くなってきたら、電池を2本とも新しいアルカリ乾電池（単4形）と交換してください。
通常の使用（1日に15分くらい音量を上げて使用した場合）で約半年が目安です。

留守にするときは

旅行などで長い間ご使用にならないときは、乾電池を取り出しておいってください。乾電池を入れたまま放置すると、消耗し、液もれが起こることがあります。

固定する

付属の面ファスナーを使って、受話音量アンプを電話台などに固定できます。
取り付け面の汚れを拭き取ってから面ファスナーを貼ってください。



●ご注意

取り付け面の材質によっては、面ファスナーを剥がすときに汚れや傷になる場合がありますので、ご注意ください。

▶使う

使いかた

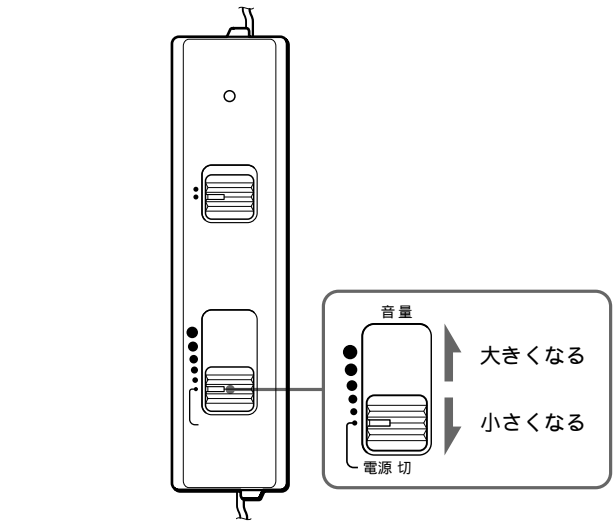
1 電話機の手話器を上げて通話を始める。

2 通話中に、音量つまみを聞きやすい大きさの位置に動かす。

「電源 切」以外の位置にすると、電源ランプが点灯します。

●ご注意

音量を上げすぎると耳を傷めることがありますので、適度な音量でお使いください。



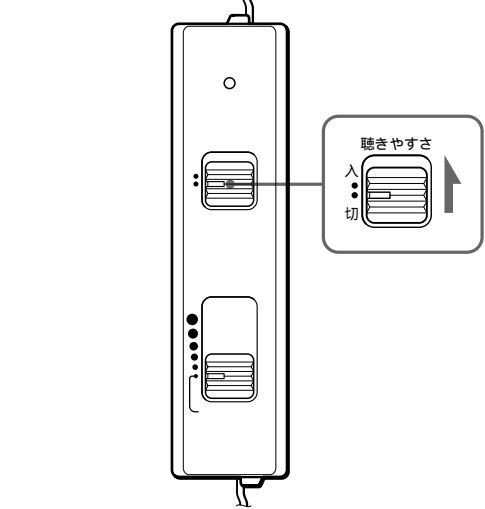
3 通話が終わったら、受話器を電話機に戻す。

本機の電源ランプは数秒後に消灯します。

聞き取りにくいときは

音量を調節しても相手の声が聞き取りにくいときは、聴きやすさつまみを「入」にしてみてください。

音量を上げているときに、聴きやすさつまみを「入」にすると、電話機によってはハウリング（ピーピー音）が起こる場合があります。ハウリングが起きない程度の音量にしてお使いください。



音量つまみを「電源 切」にすると

電話機で設定されているままの音量で聞こえます。
受話音量アンプの電源は切れ、電源ランプは消えます。
電池がなくても聞こえます。
・聴きやすさつまみは動作しません。